

©新機軸エージェンシー・サンライズ

Illustrated by BEE-CRAFT

G-ARMOR 'G-FIGHTER +RX-78-2 GUNDAM'

E.F.S.F. PROTOTYPE SUPPORTING FIGHTER



HG

UNIVERSAL CENTURY



BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

この商品には、G-アーマー (Gファイター + RX-78-2 ガンダム) が1セット入っています。

パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、口や未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・塗装をするところ



・アールの番号



・アールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・鋭い端がみえにくいため



・切り取る場所



・部品を数個の単位で作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数個に合わせて回転させます

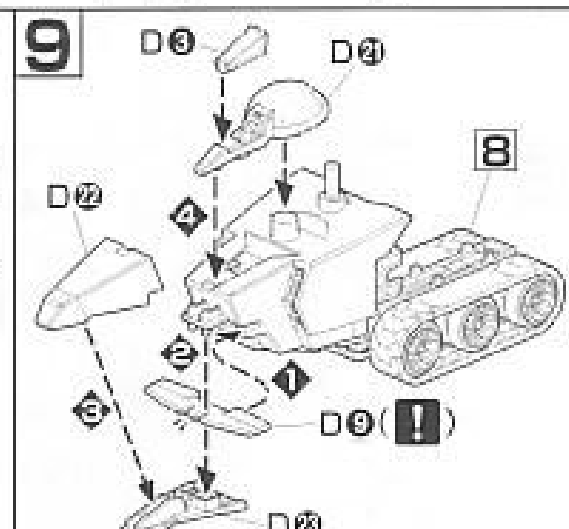
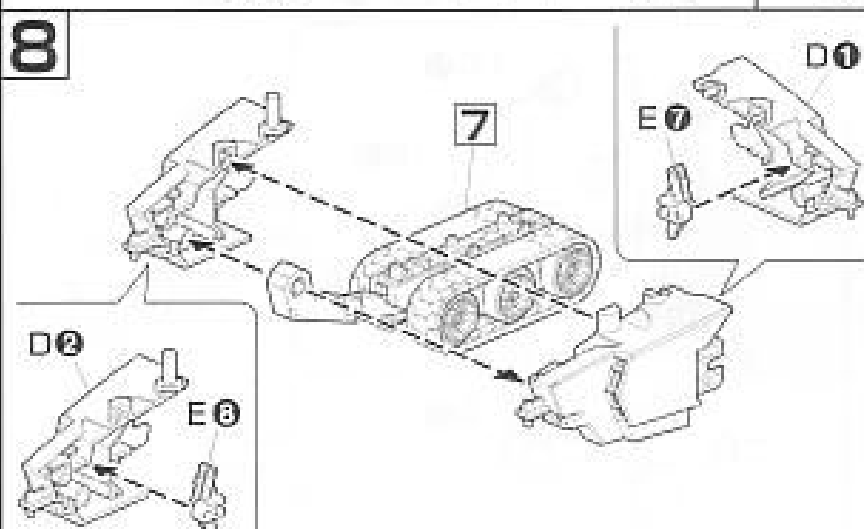
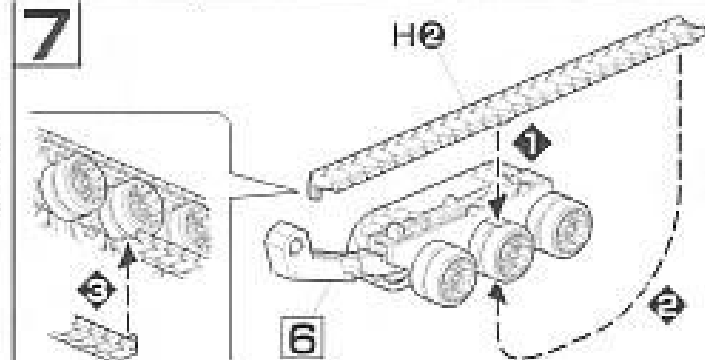
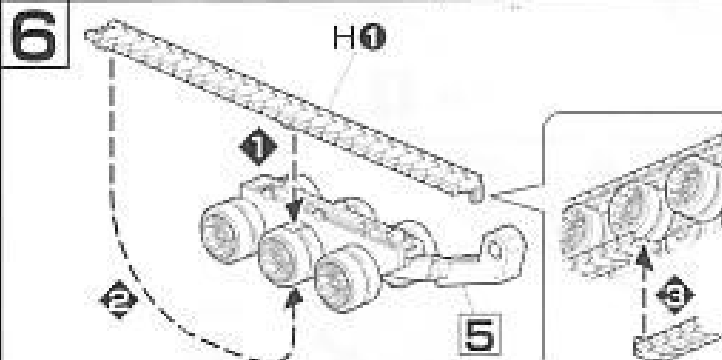
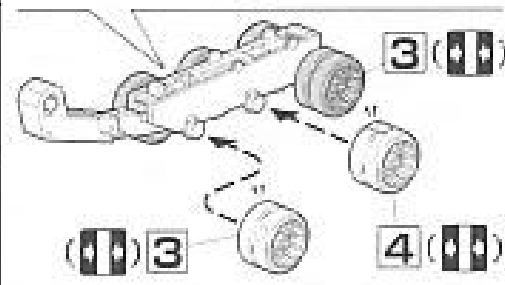
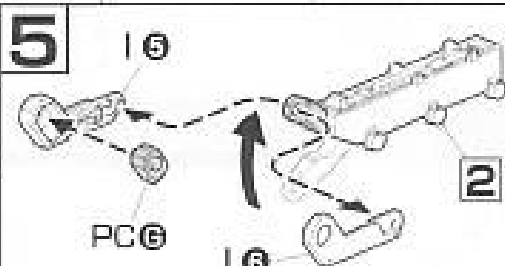
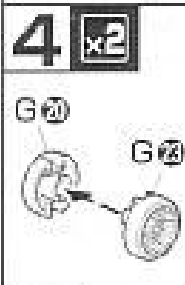
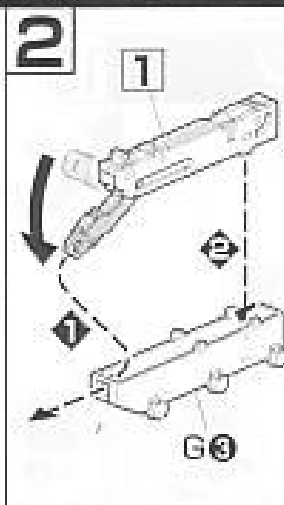
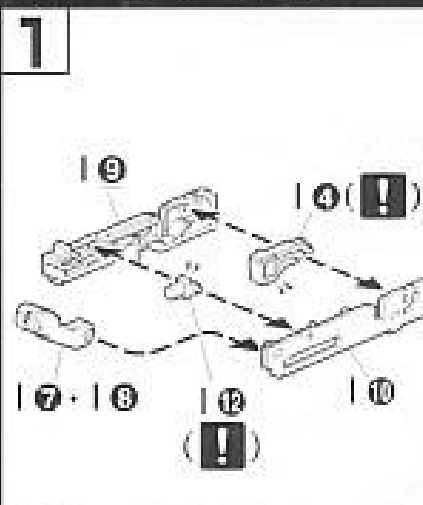


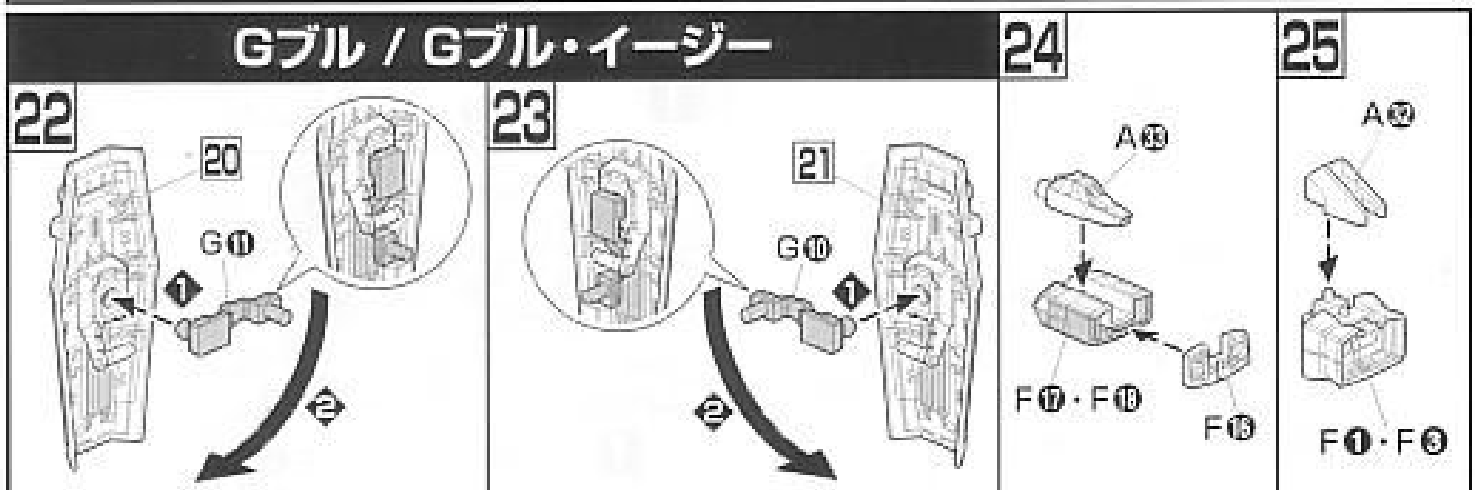
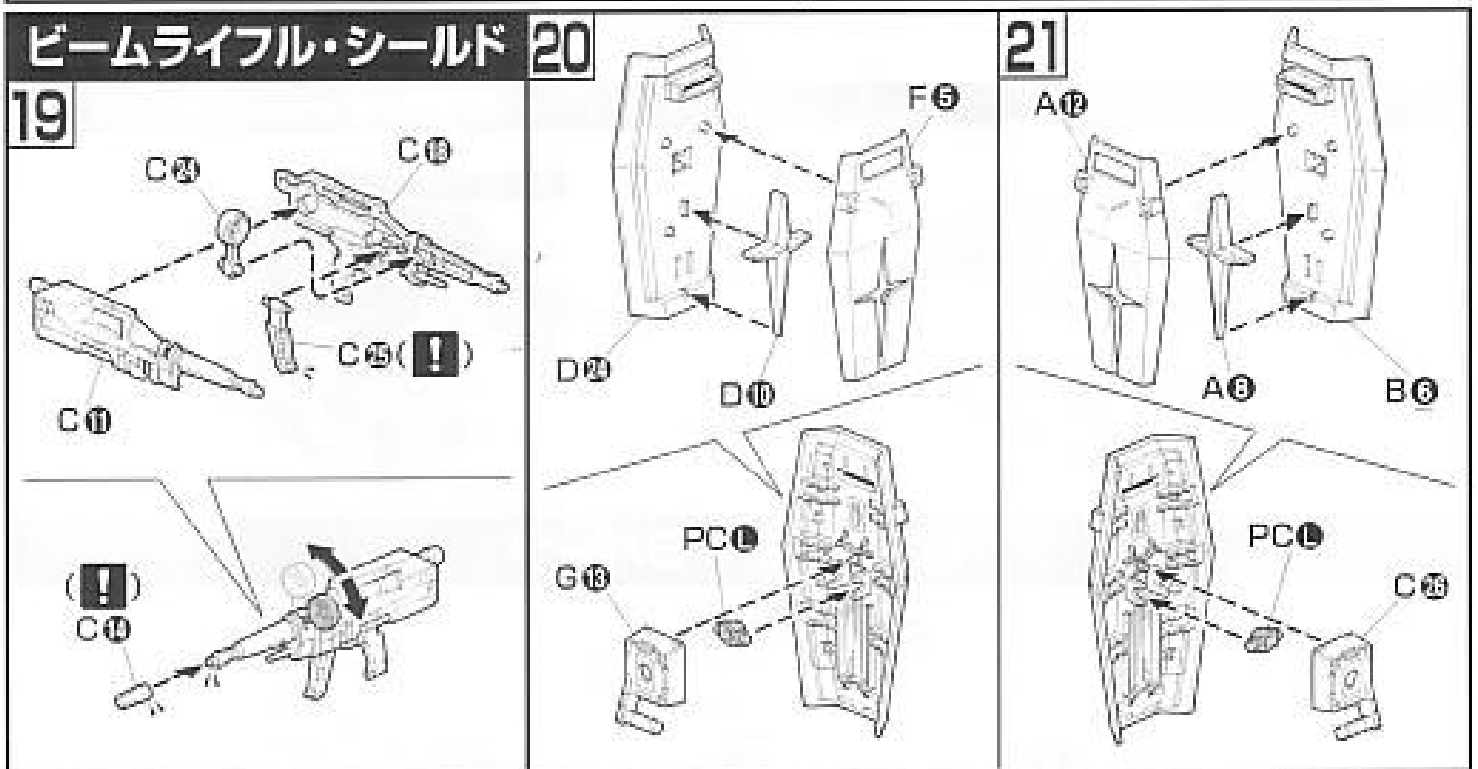
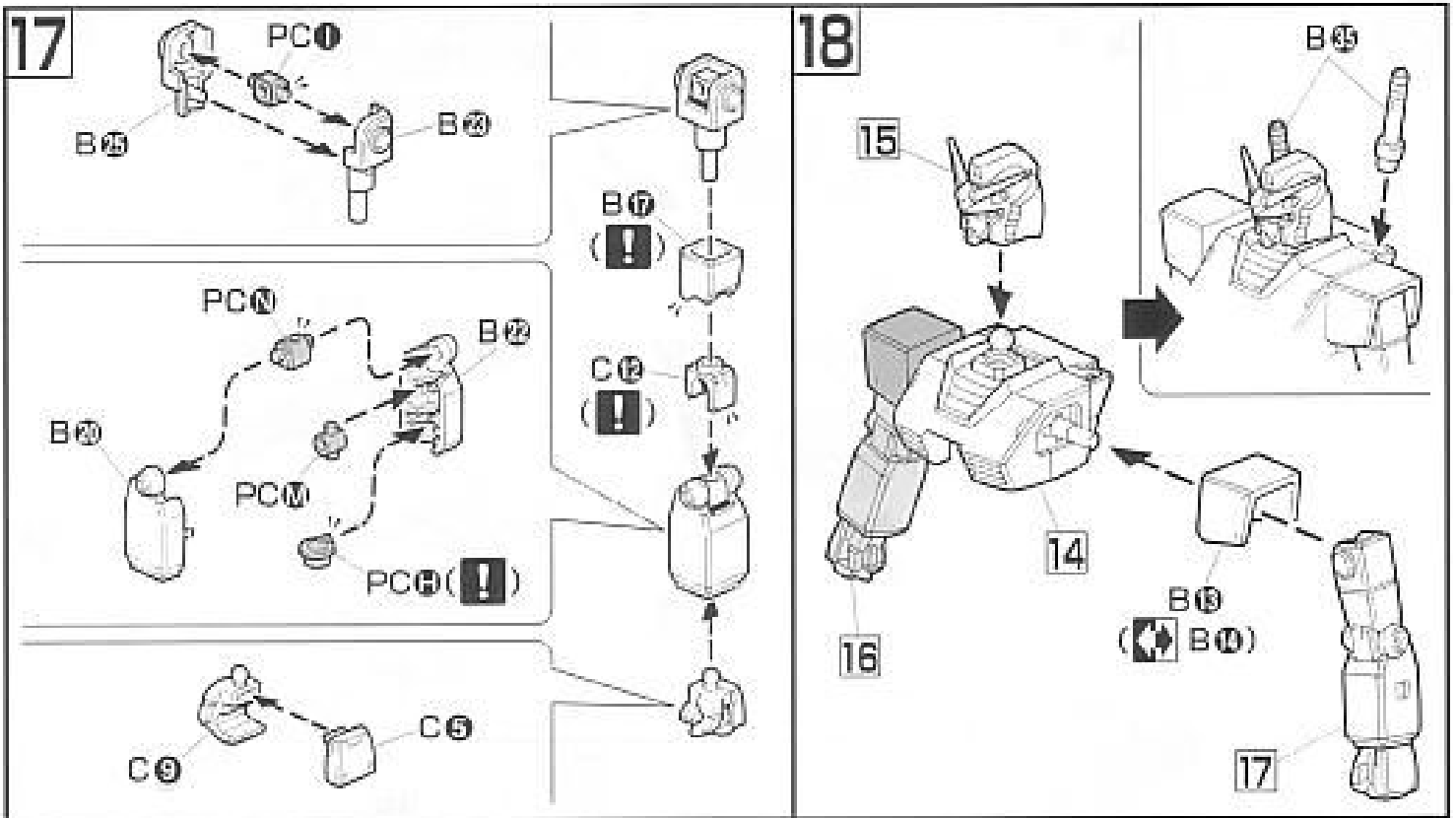
・どちらかを誤って取り付ける

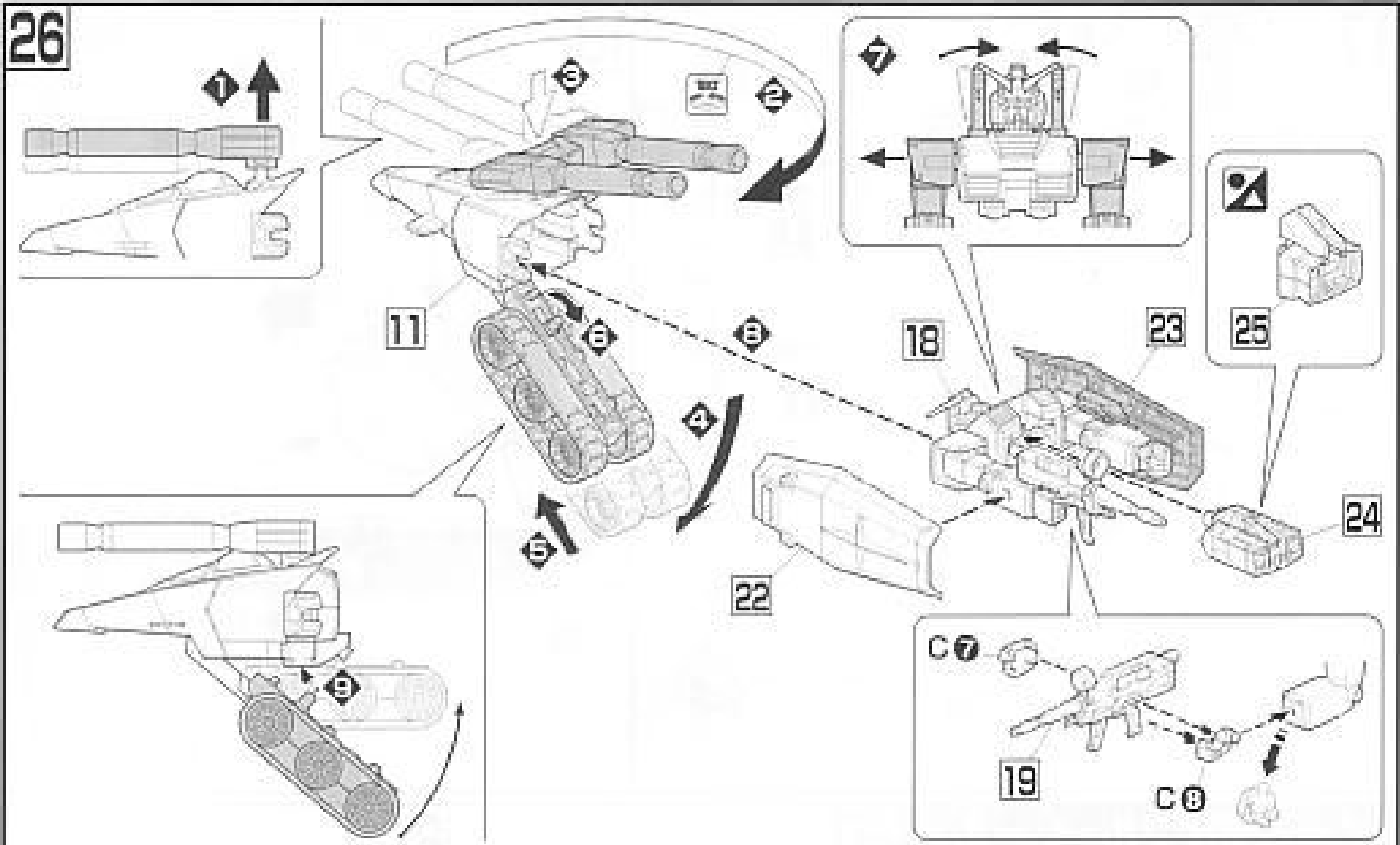


・反対側も同じように動かします

Gファイター Aパーツ



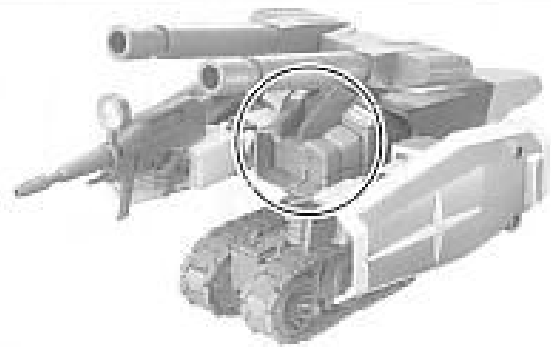




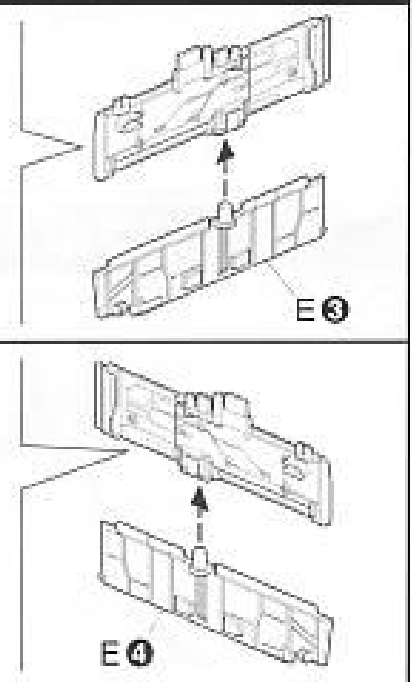
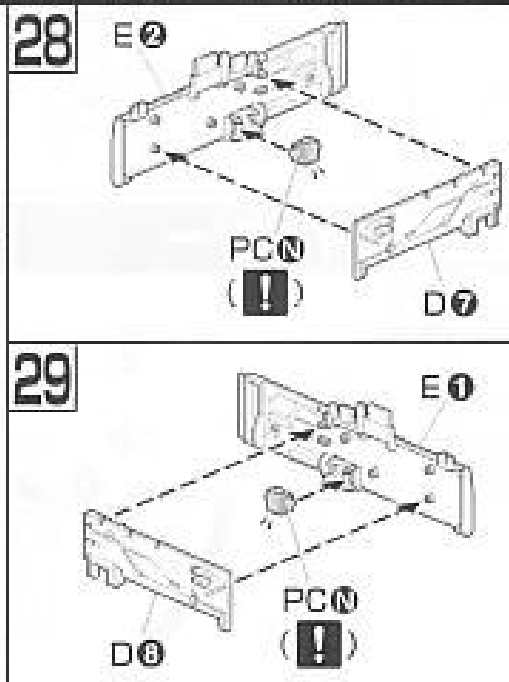
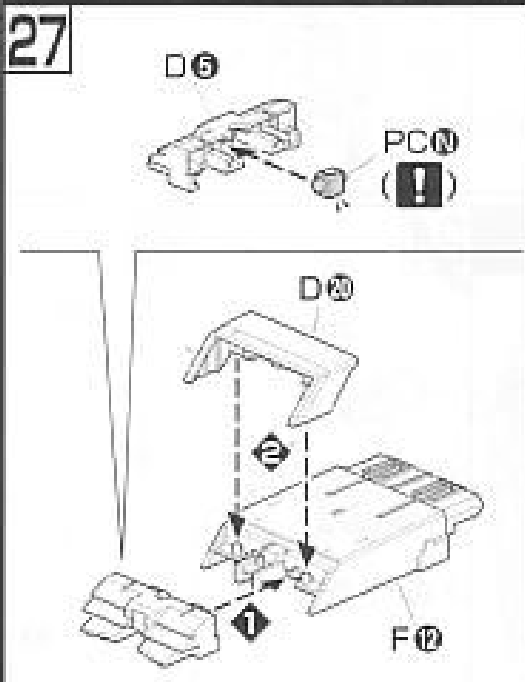
Gブル



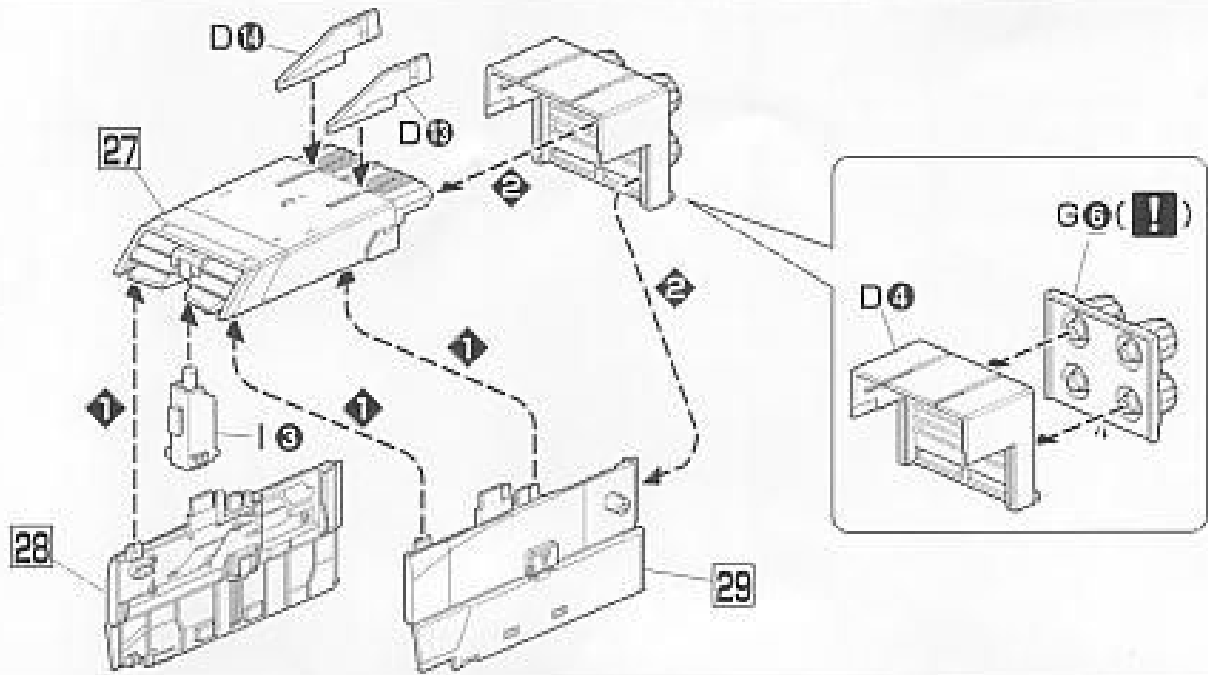
Gブル・イージー



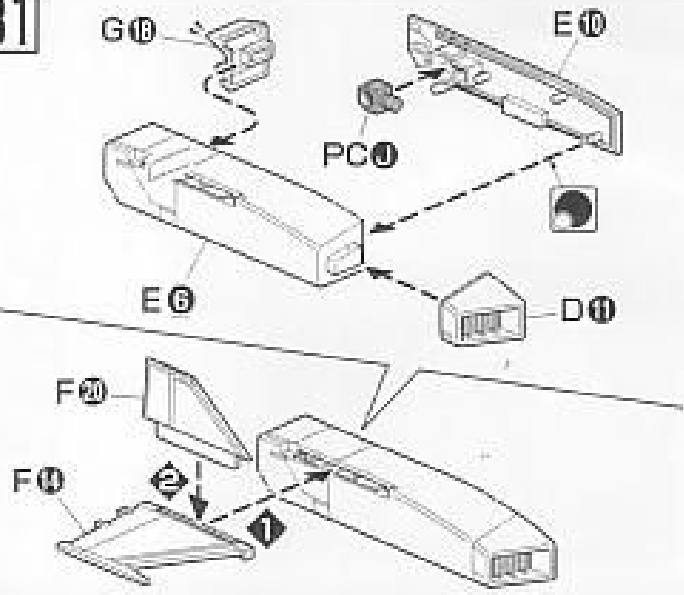
Gファイター Bパーツ



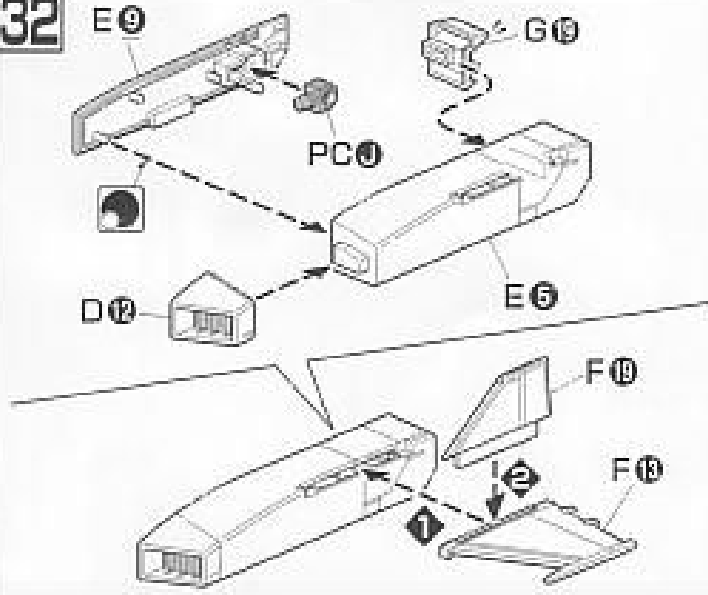
30



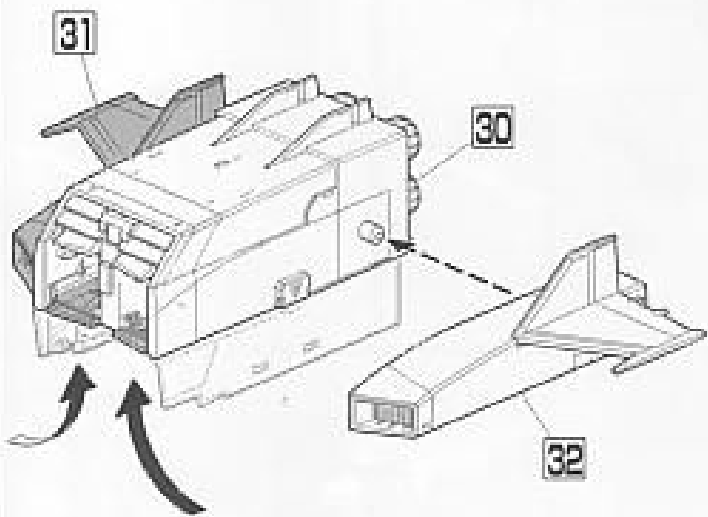
31



32

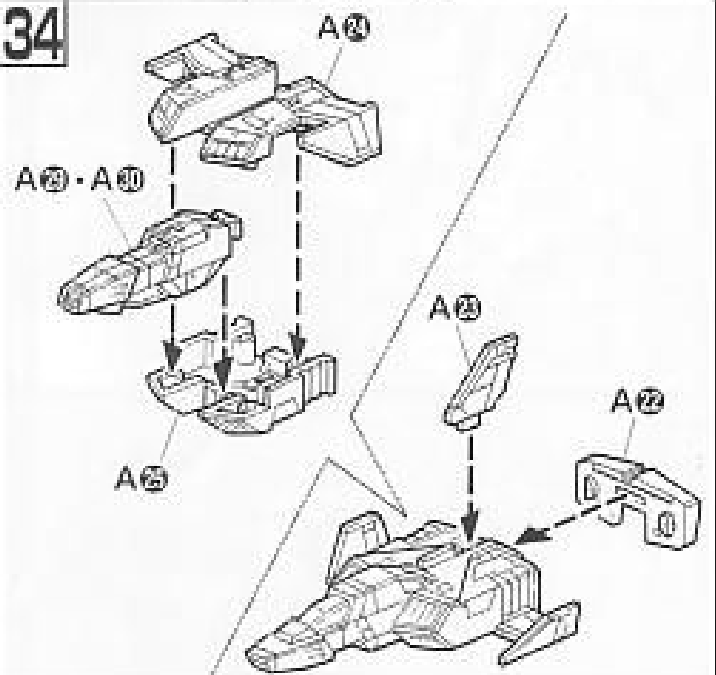


33



コア・ファイター

34



G-ARMOR "G-FIGHTER + RX-78-2 GUNDAM"

連邦軍が開発した試作MS（モビル・スーツ）「ガンダム」は、その装甲強度や武装の威力などのスペック面においてジオン公国軍のMSザクを圧倒していた。しかし、地上での運用においては同様の困難も抱えていた。すなわち、移動能力の低さである。それを補うため、ガンダムを支援するサポートメカが開発された。それが「Gパーツ（Gメカ）」である。Gパーツは単独で「Gファイター」と呼ばれる戦闘機を構成し、また、ガンダムの各パーツと相互に組み合わせることで様々なモードに形態を変え、さらに多様な戦術に対応することが可能である。このため、Gパーツと

ガンダムをまとめて「ガンダム・システム」と呼ぶ場合もある。中でも最も多用されたのが「Gアーマー」と呼ばれる形態である。「Gアーマー」は、「Gファイター」を前後に分割してガンダムをはさみこむようにドッキングしたもので、ガンダムそのものを高速で前線に搬送する機能を持つほか、強力なメガ粒子砲の連射やMA（モビル・アーマー）なみの高速戦闘が可能となる。これによってガンダムは「パワーアップした」と言っても過言ではないほどの機能向上を達成し、続々と投入される公国軍の新型MSやMA（モビル・アーマー）に引けを取ることなく一年戦争を戦い抜くのである。

SPEC

型式番号: RX-78-2
 全高: 18.0m
 本体重量: 43.4t
 全備重量: 60.0t
 ジェネレーター出力: 1380kw
 装甲材質: ルナ・チタニウム
 武装: ビーム・ライフル
 ビーム・サーベル
 ハイパー・バズーカ
 80mmバルカン

SPEC

G.P.A.R.T.S
 全長: 26.5m (Gファイター時)
 35.8m (Gアーマー時)
 全幅: 18.5m
 装甲材質: ルナ・チタニウム
 武装: メガ粒子砲
 ノーズミサイル

補助推進ユニット

熱核ジェット/ロケットエンジンとプロペラントタンクなどが一体化された補助推進ユニット。大気圏内では巡航時に効率のよい熱核ジェットとして機能し、MSのS.F.S（サブ・フライト・システム）として運用される際は、重臣尾翼が機体の障害とならないよう回転する。

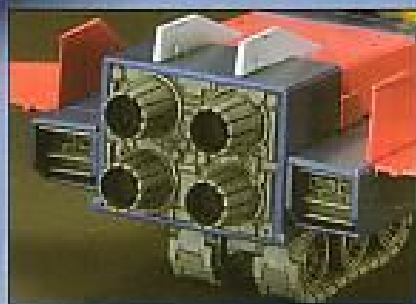


メガ粒子砲

ガンダムのビーム・ライフルを上回る威力を持ち、ガンダムとドッキングすることでさらに使用回数などが向上する。

カナード

GメカAパーツが装備する補助空力装置。GアーマーはGファイターと違い、飛行特性が「航空機」よりむしろ「飛行体」に近くなるため、高速領域での機体制御のために装備している。



メイン・スラスター

Gパーツの主推進器。熱核ハイブリッドエンジンが生み出す膨大な推力によって、ガンダムを積込んだままでも高速で移動することができる。特に、Gアーマー形態時には時速800km以下だと重力下では失速してしまう。ちなみに、低速飛行時には機体各所に設けられたサブスラスターによるV-TOL（垂直離陸）およびS-TOL（短距離離陸）が可能。

※この写真はイメージです。(Gアーマー時のGパーツとガンダムの関係をイメージ的に表現したものです。)

Gファイター

Gパーツのみで構成される支援用戦闘機。2門のメガ粒子砲や機首ミサイルなど、強力な戦闘能力を持つほか、ガンダムを搭載していない分軽量であるため、機動性も非常に高い。

RX-78-2 ガンダム

「V作戦」に基づいて地球連邦軍が開発した試作MS。発行していたRX計画を統合し、白兵/近接戦闘を主体に開発された。ルナ・チタニウム合金やビーム・ライフルの装備など、公国軍が開発していたザクなどのMSを超えるスペックを持つ。

Gブル

ガンダムの上半身とGメカAパーツおよびコア・ファイターからなる格闘兵器。通常、操縦はコア・ブロックのコックピットから行うが、Gメカのコックピットでの運用も可能である。機動性は低下するが、宇宙空間でも運用できないことはない。

Gブル・イーシー

ガンダムの上半身とGメカAパーツからなる格闘兵器。操縦はGメカのコックピットから行う。

Gスカイ

ガンダムの下半身とGメカBパーツおよびコア・ファイターからなる航空/前線兵器。高速かつ自給給の運用が可能だが、武装がコア・ファイターのバルカン砲のみとなるため、攻撃力はほぼ期待できない。

Gスカイ・イーシー

GメカBパーツおよびコア・ファイターからなる航空/前線兵器。ガンダムの下半身パーツを換装して運用できる。

G-ARMOR Gアーマー(Gファイター + RX-78-2 ガンダム)

「Gアーマー」は、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」に登場した「G(パーツ)」と呼ばれるパワーアップパーツとガンダムがドッキングした汎用航空/宇宙戦闘兵器である。U.C.0079年11月初旬、独立部隊として地上を転戦するW・B(ホワイト・ベース)部隊の元に新たな装備が届けられようとしていた。レビル将軍は輸送部隊のマチルダ中尉に「Gパーツ」の移送を命じる。「途中はまたモルモットにされるのかもしれないが、度重なる戦闘で甚大な被害を受けたW・Bの修理と補給は緊急を要していた。しかし、その輸送部隊のミデアセド・ダイヤGに乗ったダフ部隊が急襲する。「Gファイターのエンジンのパワーを上げておけ。ガンダムに使わせる」「し、しかし、いきなり使いこなせますか?」部下の疑問にマチルダは平然と答えた。「アムロなら大丈夫です」。ハヤトが乗り込んだGファイターとの連携でアムロの乗るガンダムは敵部隊を避け、マチルダ隊はW・Bとの合流に成功する。しかし血をつく罰もなく新子が舞い上がる。3機の新型MSドムを撃つ「黒い三連星」は、間く間にW・Bを射程内に収める。「セイラさんが手調なってます。フラウの報告にマチルダは「大丈夫です。Gアーマーにやらせなさい」と言い放つ。ガンダムのコクピットからアムロが呼びかける。「セイラさん、行きますよ」「えっ?! ええどうぞ」適性があるからとGメカのパイロットにされてしまったセイラは、戸惑いながらも死に答えた。「エンジン全開、加速合わせ。よろし?」「お、OK」。運命の空にGアーマーが飛び立つ!



ガンダム+GメカBパーツ (ガンダム・スカイ)
ガンダムにGメカBパーツを装着した状態。MS機体の場合にとって推力が飛躍的に向上するため、MA(モビル・アーマー)的な高速戦闘に特化された運用が可能となる。

コア・ファイター

ガンダムのコクピットブロックに採用する小型戦闘機で、射出ポッドとしても機能する。G(パーツ) (Gメカ) との組み合わせの際にも使われるモジュールである。



CG Work by YUJI KONNO (Jam)

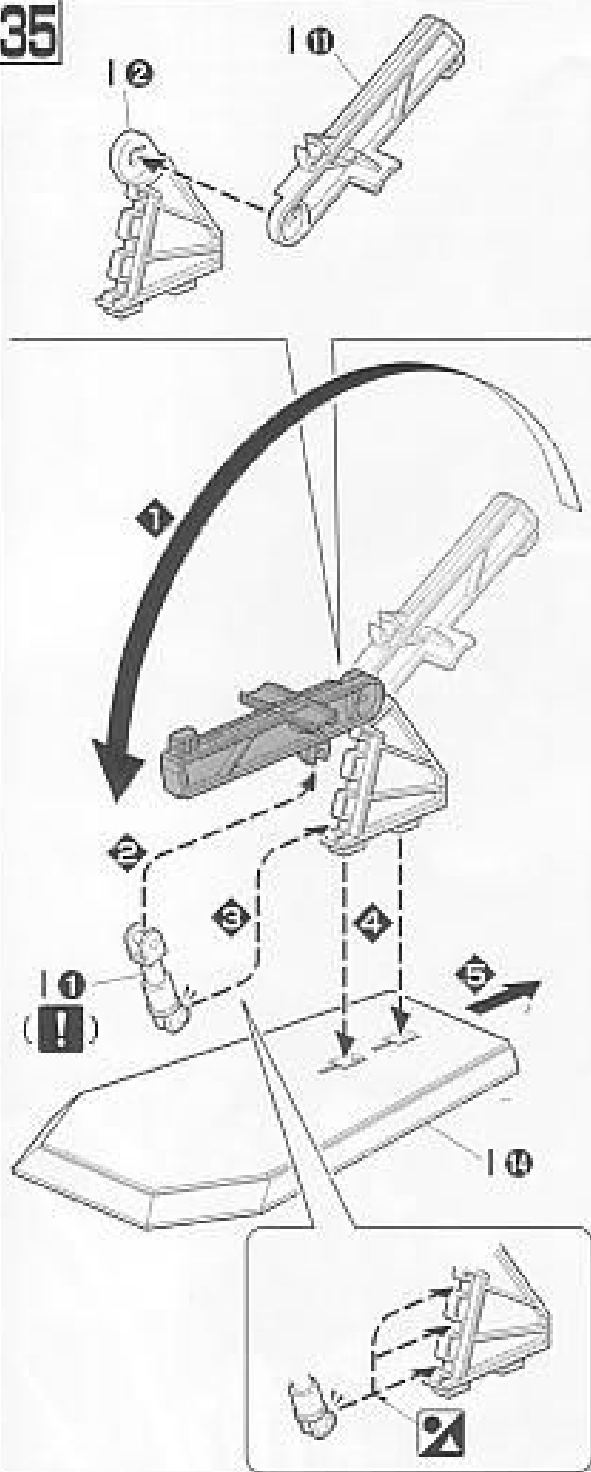
G-ARMOR (Gアーマー (Gファイター+RX-78-2 ガンダム)) デザインワークス(コンセプトデザイン: 丸山明弘)

G-ARMOR 8-HOUR



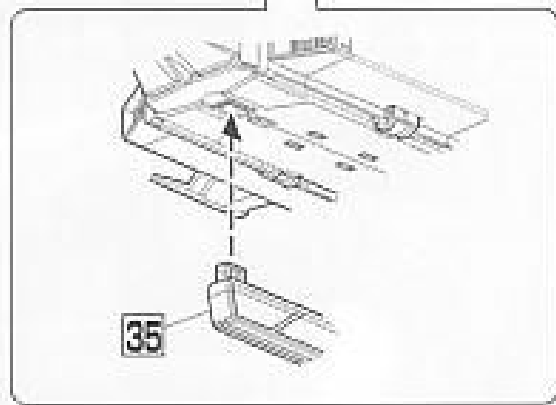
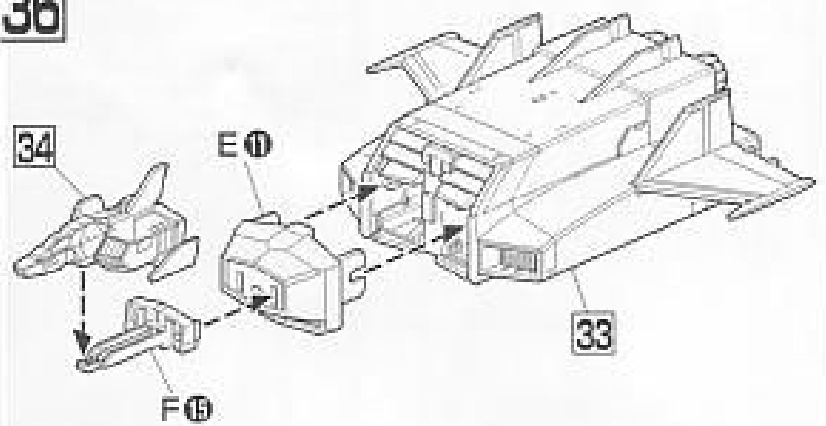
スタンド

35



Gスカイ・イージ

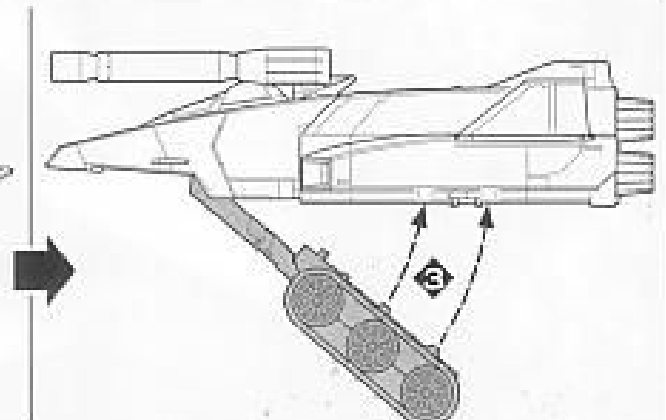
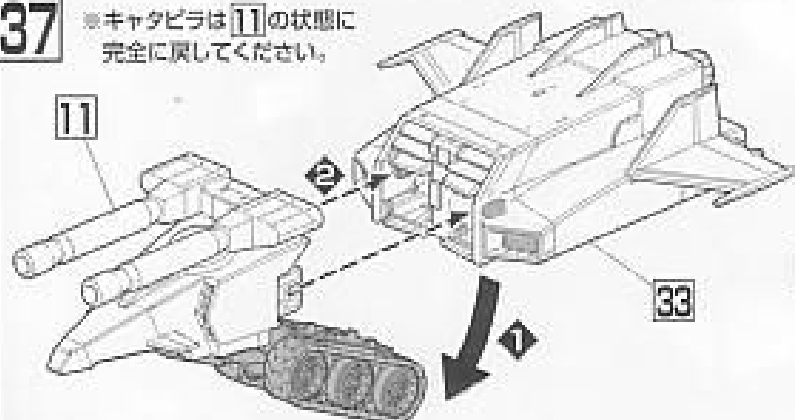
36



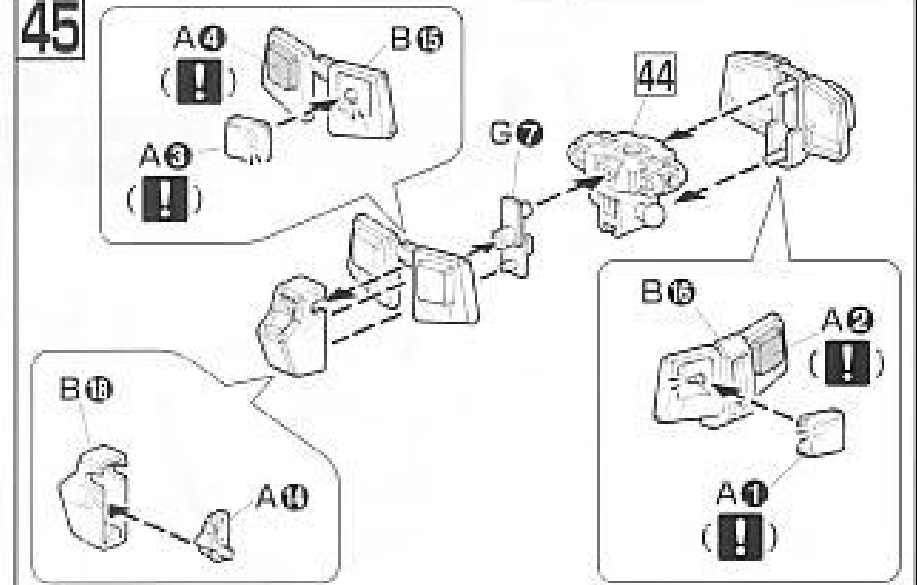
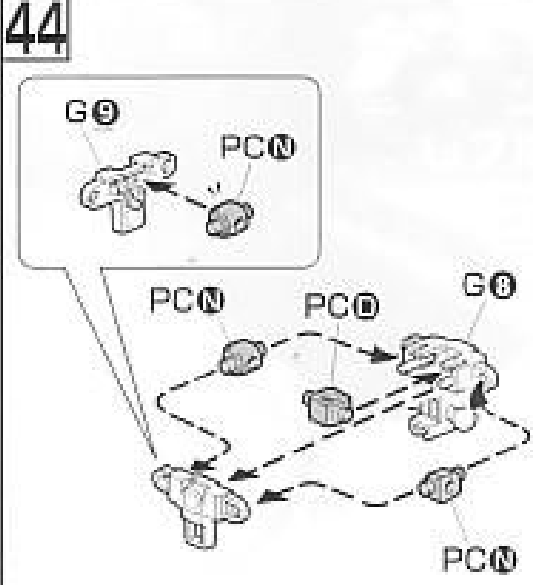
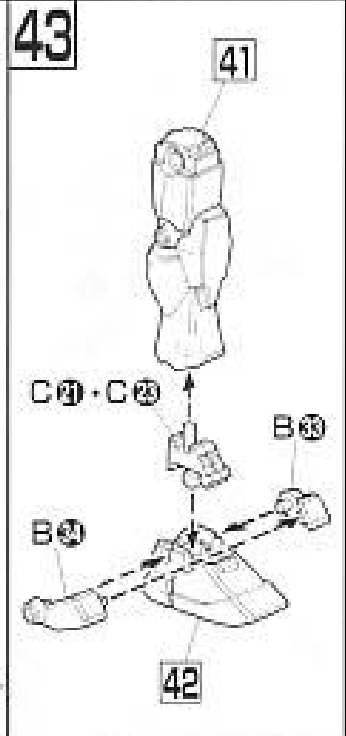
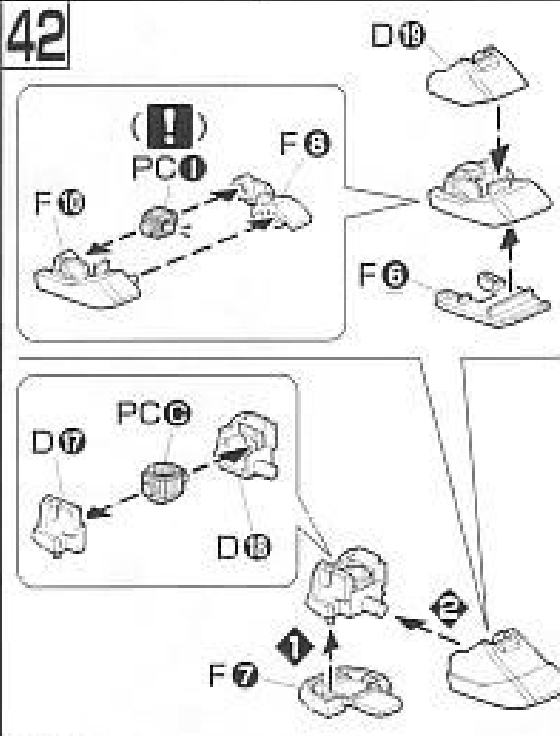
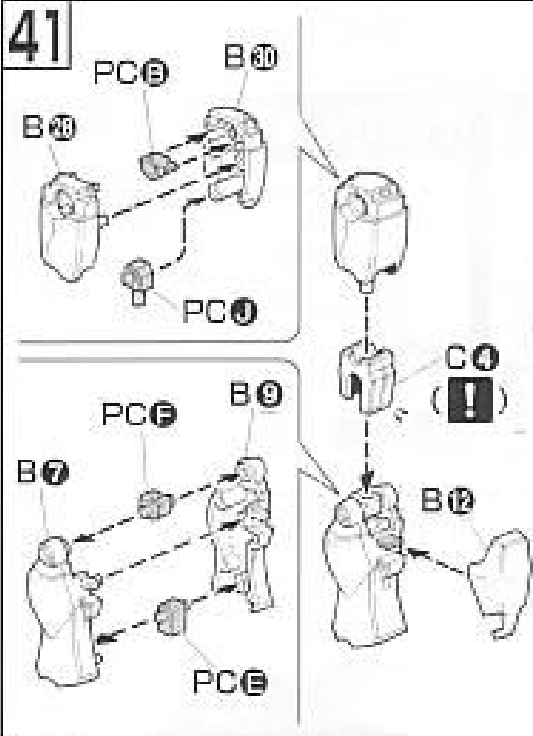
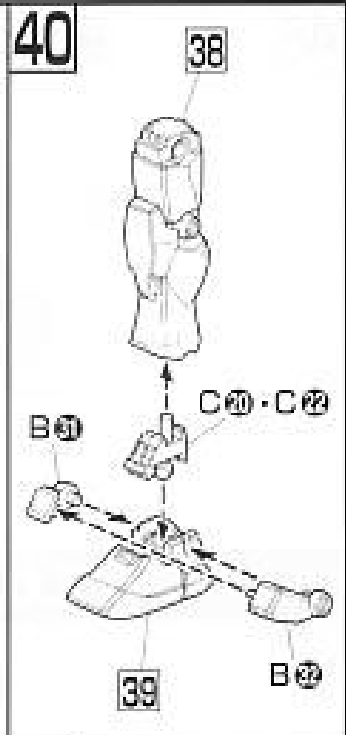
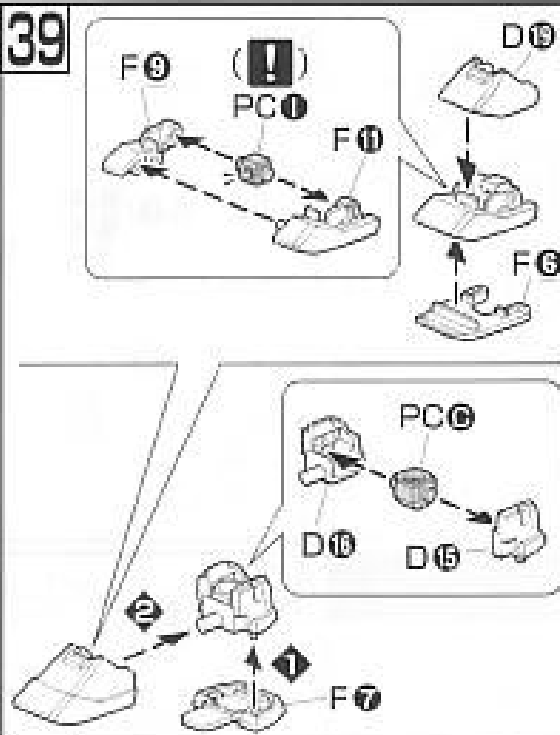
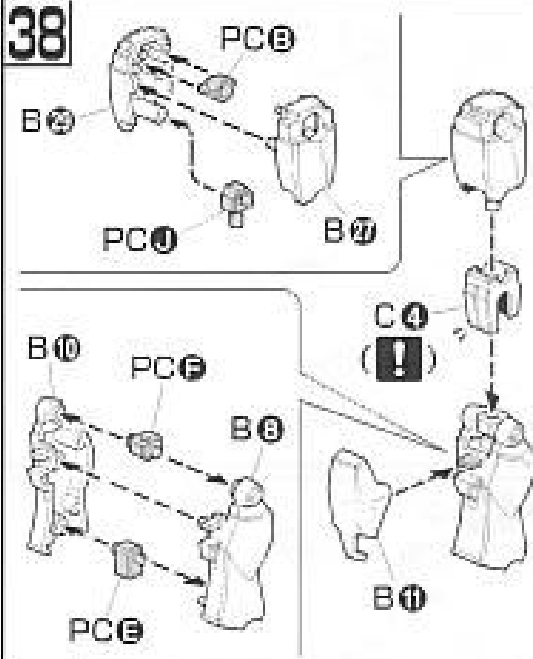
Gファイター

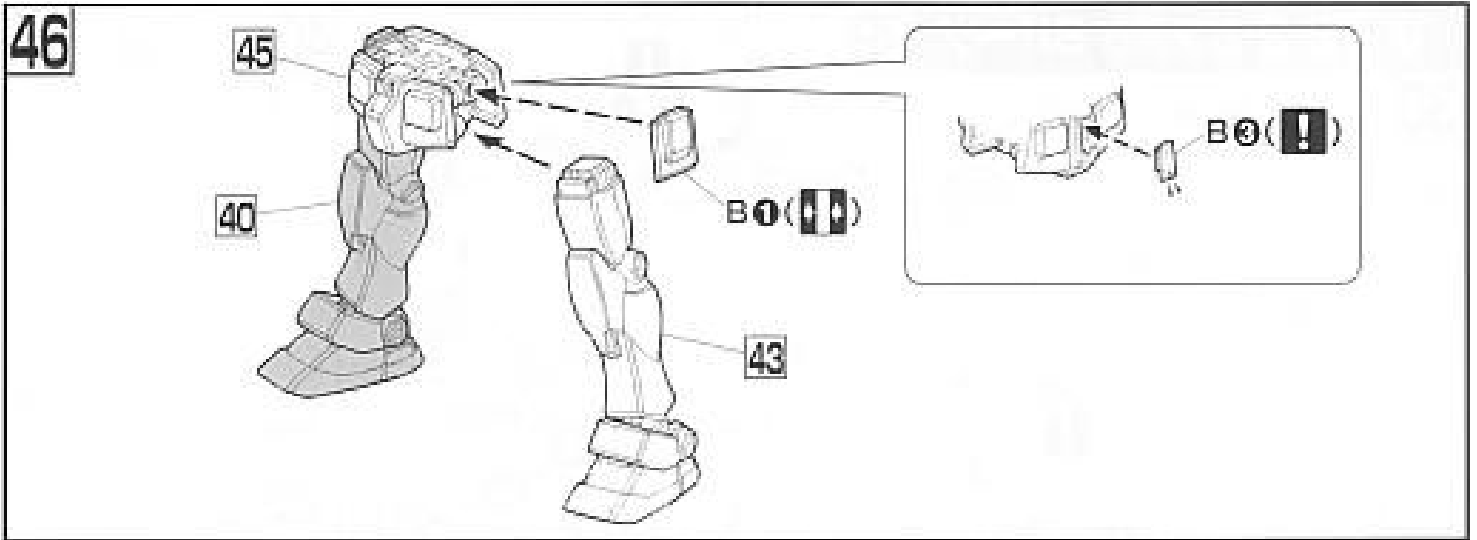
37

※キャタピラは11の状態に完全に戻してください。

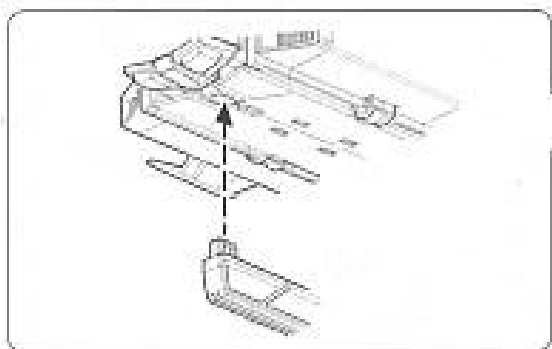
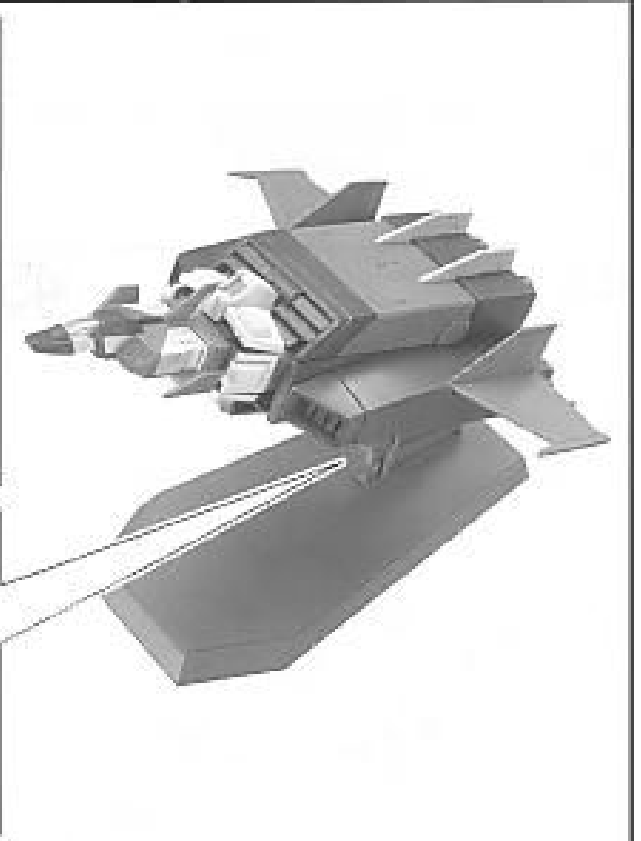
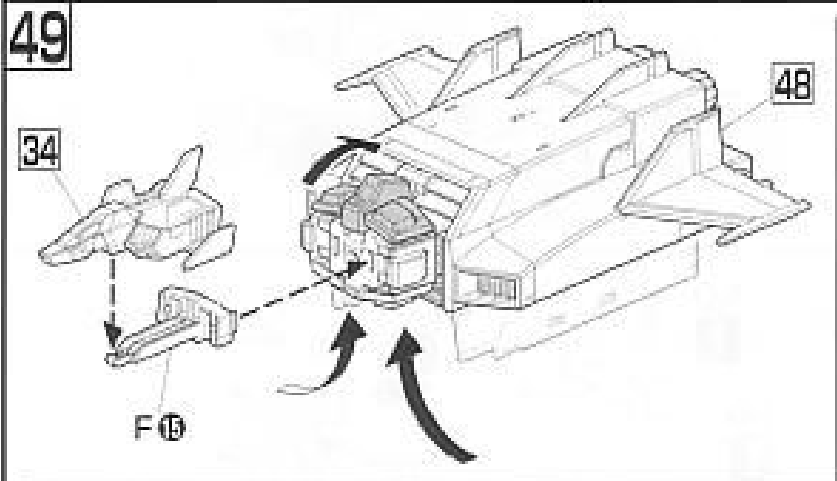
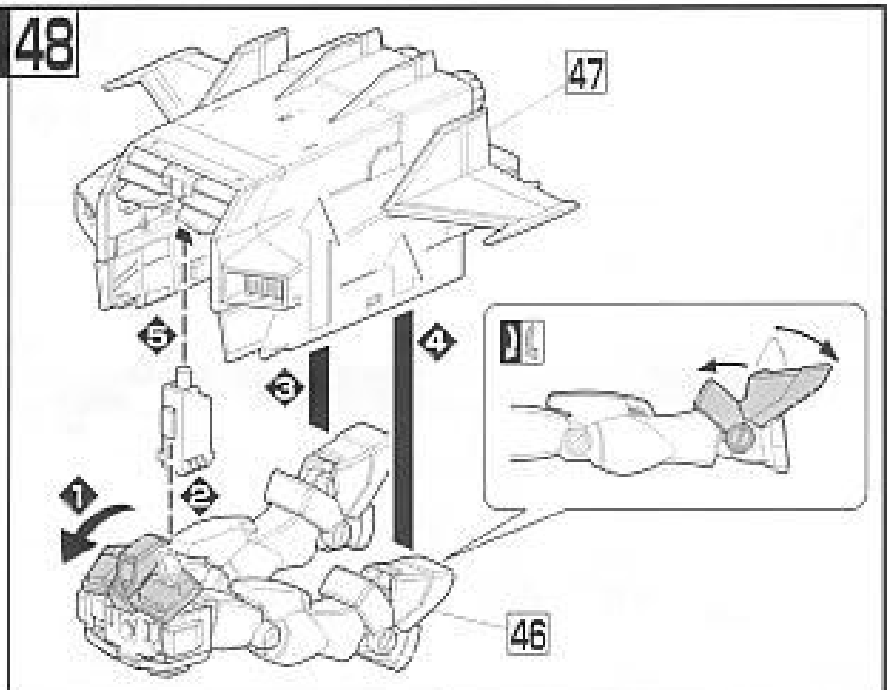
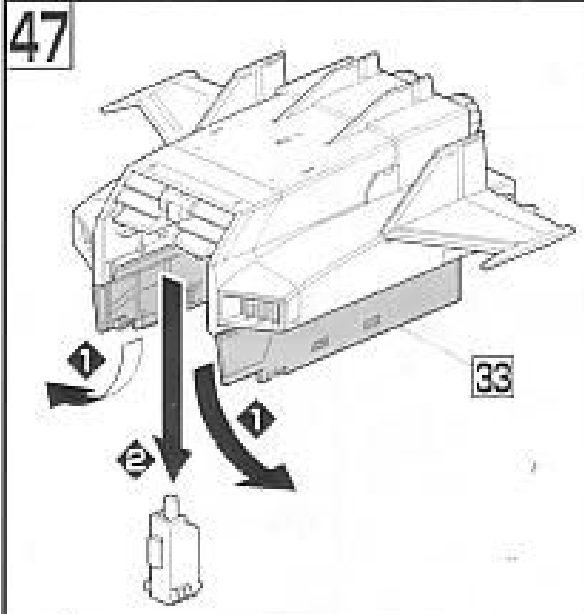


RX-78-2 ガンダム Bパーツ 39

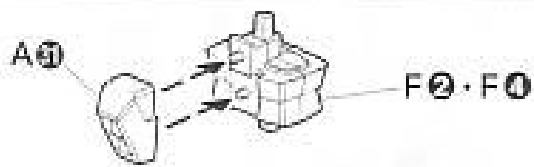




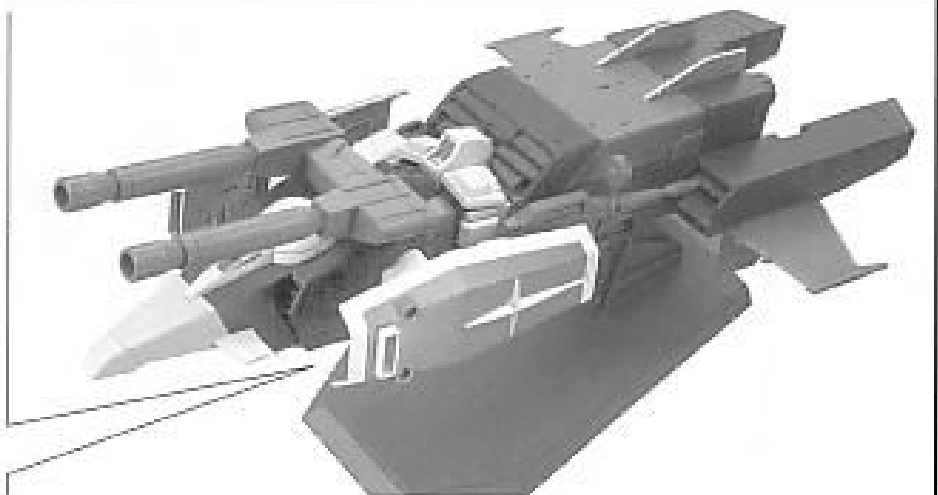
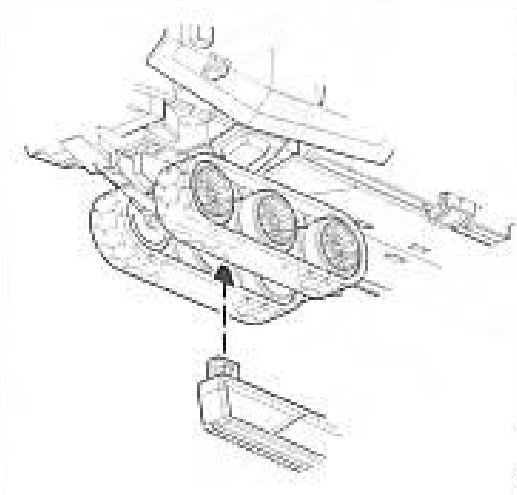
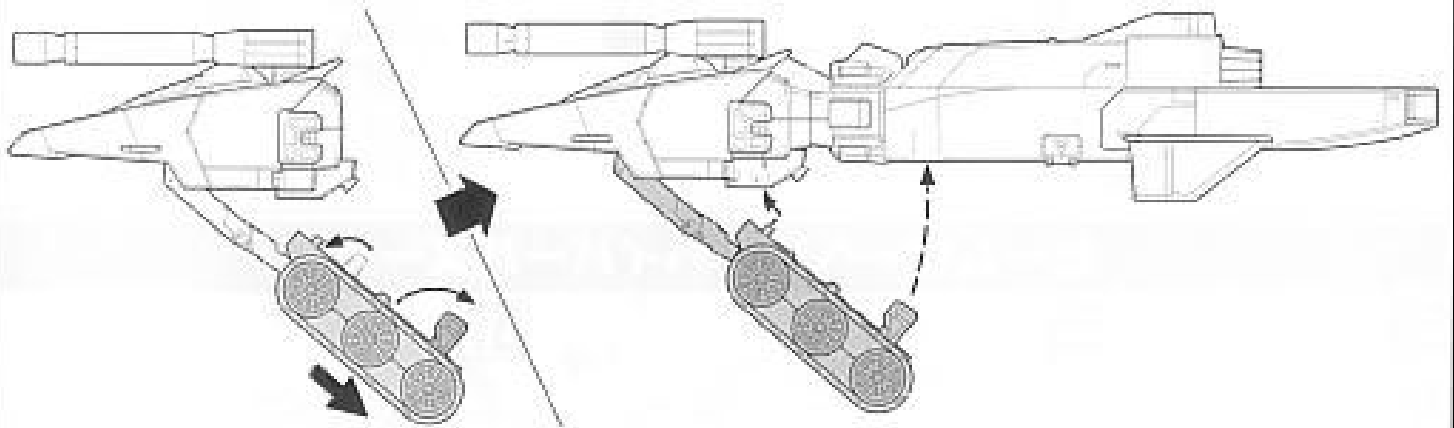
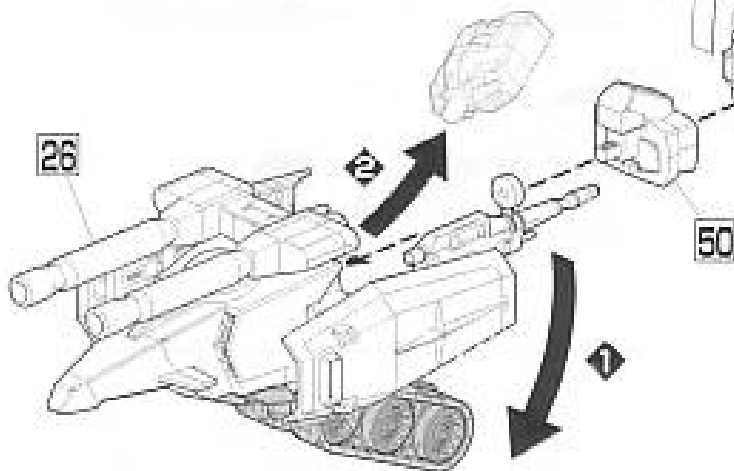
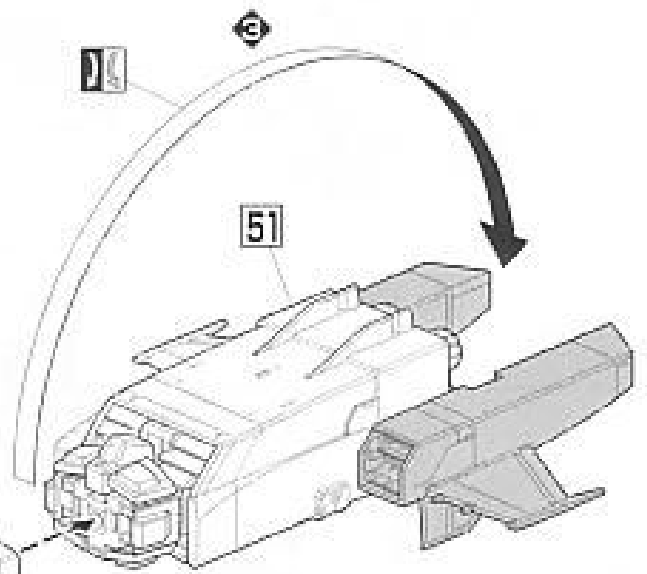
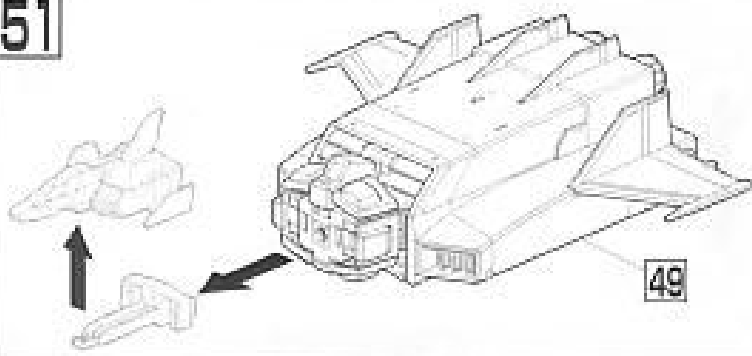
Gスカイ



50

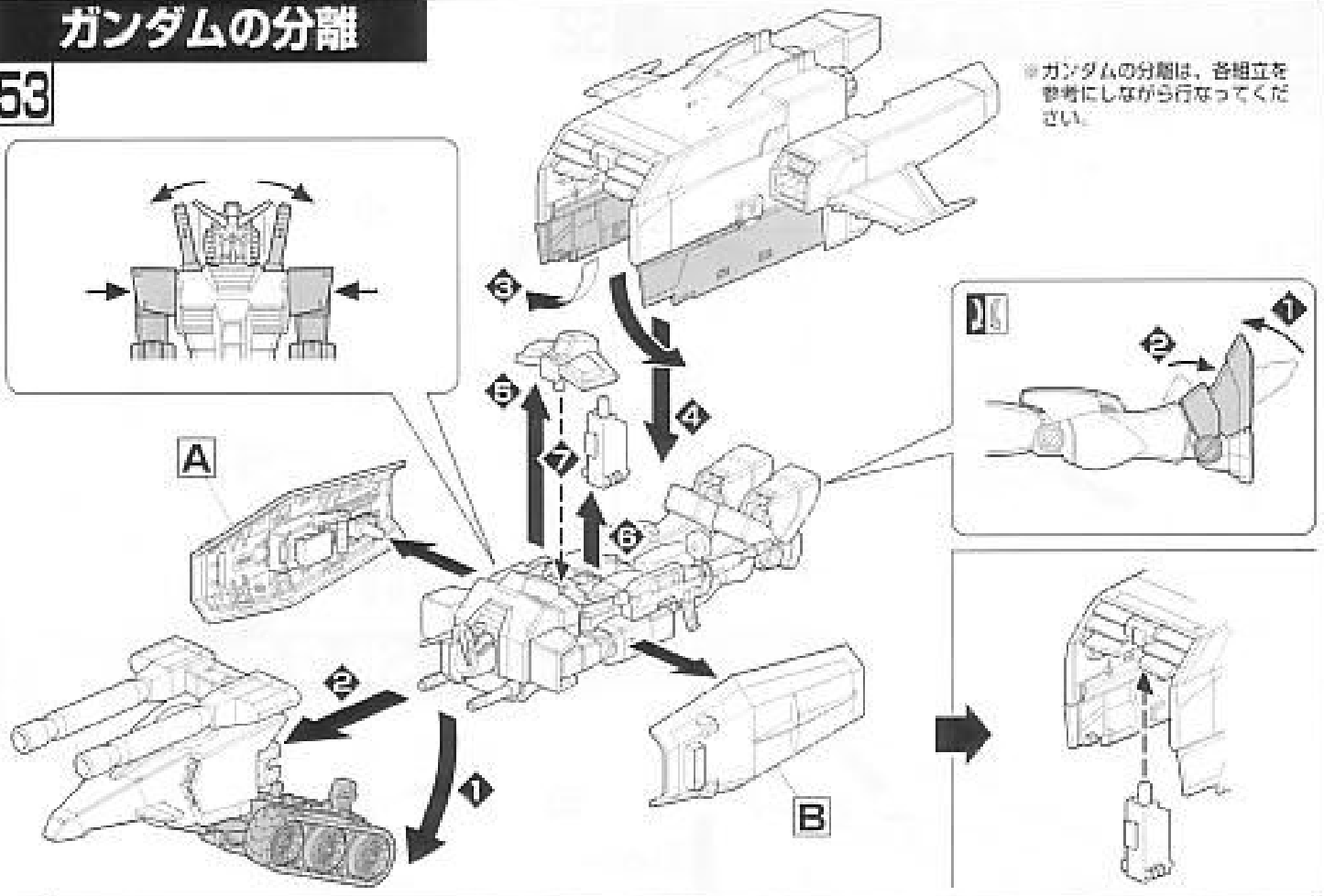


51

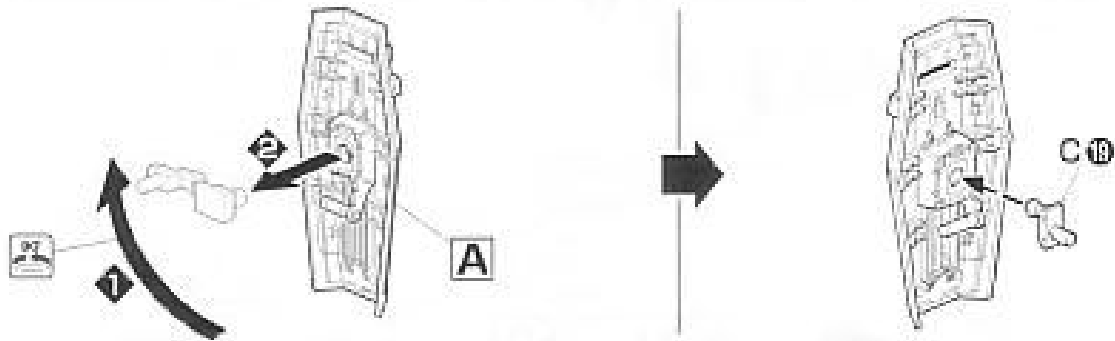


ガンダムの分離

53

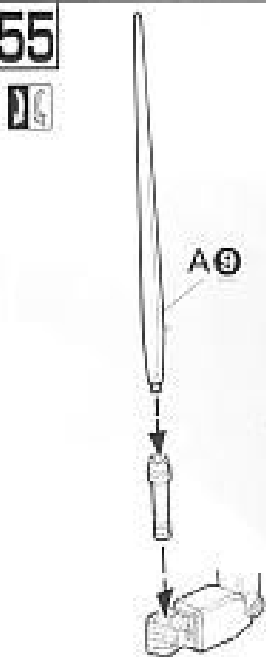


54

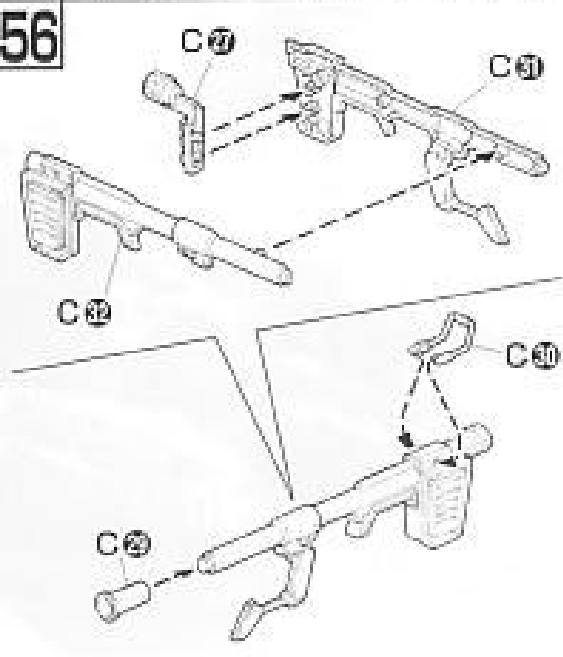


ビームサーベル / ハイパーバズーカ

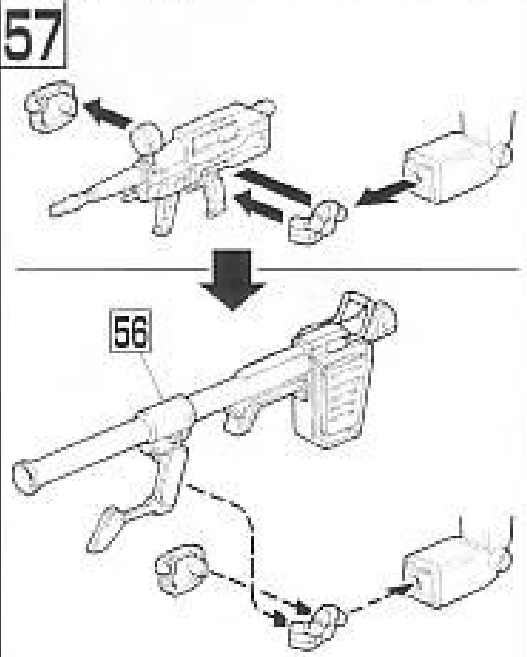
55



56



57



DETAIL

ディテール



コクピット

コア・ファイターのコクピットと同様の構造を持ち、操縦及び兵器制御を行う。ただし、教育型コンピュータは搭載されていない。Gファイター、Gアーマー、Gブル・イーザー形態時に使用される。

主翼

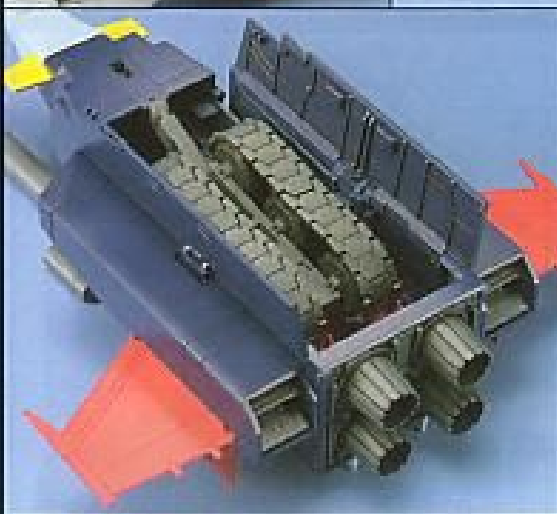
Gパーツの翼が展開。モードによって前進翼または後進翼として機能する。構造的にはガンダムシールドの固定装甲と同等の耐撃性を持つ。

キャタピラ

主にGブルおよびGブル・イーザー形態時に使用される陸戦用の主推進装置。これによってGメカは、いわゆる戦車的な運用が可能となる。機能的にはGファイターやGアーマー形態時にも使用できる。車輪や履帯そのものは飛行時にデッドウェイトとなるが、中央部のブームモジュールはエネルギー経路組み替えのガイドやGアーマー形態時の構造保持などに不可欠のユニットである。

ドッキングシステム

Gパーツにガンダムの下半身を収容する際、上下どちらを向いていても対応できるようにホールドおよびコネクシステムが構成されている。



RX-78-2 GUNDAM

ガンダム REAR VIEW

リアビュー



COLOR GUIDE

●ガンダム本体:

ホワイト(100%)
+ブルー(少量)
※または、ガンダムカラー
ホワイトS

●ガンダム胸部分:

コバルトブルー(60%)
+インディブルー(40%)
※または、ガンダムカラー
ブルー11

●ガンダム履部分:

レッド(90%)
+イエロー(10%)
※または、ガンダムカラー
レッド1

●ガンダムインターナ:

イエロー(90%)
+スラッシュイエロー(10%)

●キャタピラ部:

ホワイト(60%)
+ネービーブルー(40%)
+ミディアムブルー(10%)

●Gアーマー本体:

インディブルー(40%)
+コバルトブルー(40%)
+レッド(10%)
+ホワイト(10%)

●Gアーマー頭蓋:

ホワイト(80%)
+ミディアムブルー(10%)

●ZF・Z+9-4+Z+9-1:

スカイブルー(100%)

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の参考色にご確認ください。

※塗料には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、1機1651クレオスより発売のガンダムカラー(HB)ガンダム1用、その他カラーセットをお買いください。